

ショップコンテスト2017 応募用紙

店名	ゲオ松阪大塚店	法人名	(株) ゲオ
店舗住所	三重県松阪市大塚町380-1		
電話番号	0598-52-6481	e-mail	
店長名（またはご担当者名）			
■ 応募作品のテーマ	長居したくなるスターウォーズコーナー		
■ 写真貼付欄①			



■ コメント(アピールポイント、展開に至った経緯、苦労話、お客さんの反応等、何でもOK!)

お客様第一を考えたコーナー展開になっています。

お客様の通行の邪魔になるような展開はせずに、棚内のみでコーナーを作成しました。

商品を手に取りやすく、なおかつコーナーが目立つように意識して作成してあります。

タイトルロゴを複数設置し、スターウォーズコーナーだという事が分かり易くなっています。



■コメント(アピールポイント、展開に至った経緯、苦労話、お客さんの反応等、何でもOK!)

壁を一部分だけ黒い布で覆い、コーナーの異物感を演出しました。

名セリフPOP（フォースと共にあれ。）も設置し、既存ファンへの訴求も行っています。

天井から戦闘機等のPOPを吊るすことで、より臨場感のあるコーナー展開が出来ていると思います。

『スターウォーズ』シリーズが特殊な公開順となった理由

ご存知の方も多いですが、『スターウォーズ』は少し特殊なシリーズとなっていて、1977年にエピソード4、一番最初の作品として劇場公開されました。

私も公開順を初めて知った時「え？なんぞ？」と思いましたが、それにはある理由が隠れていました。

そのある理由とは「1番話が盛り上がるエピソードで勝負したから」。

元々ルーカス監督の意の中には全9部作で考えていました。当時無名の映画監督だったルーカス監督は、全9部作の内、1番ストーリーが盛り上がるエピソード4を大膽に、勝負に出ます。(公開当初は「スターウォーズ」というタイトルでした。)

結果、『スターウォーズ』は大人気となり『スターウォーズシリーズ』化されます。

『スターウォーズ』公開順

- 「エピソード4～新たなる希望～」(1977)
- ↓
- 「エピソード5～帝国の逆襲～」(1980)
- ↓
- 「エピソード6～ジュダいの復讐～」(1983)
- ↓
- 「エピソード1～ファントム・メナス～」(1999)
- ↓
- 「エピソード2～クローンの攻撃～」(2002)
- ↓
- 「エピソード3～シスの復讐～」(2005)
- ↓
- 「エピソード7～フォースの覚醒～」(2015)
- ↓
- 「エピソード8～最後のジェダイ～」(今冬公開)
- ↓
- 「エピソード9」(2019年公開予定)

『スターウォーズ』を見る順番

①公開順

あえてシリーズをエピソード4からスタートさせているのは、しっかりとした理由があり、ストーリーの時系列が前後するの『スターウォーズ』の特徴の一つで、生みの親である監督ジョージ・ルーカスの意図を最も堪能できるのが**公開順**と言われています。

また、『エピソード4～新たなる希望～』は、1977年に公開されているため、1999年に公開された『エピソード1～ファントム・メナス～』と比べると、20年以上の映像技術の大きな差が出てしまっています。

映像技術の進歩も感じながら見ていけるため、『スターウォーズ』シリーズを観ていく順番としては、**公開順**が最もスタンダードな答えです。

『スターウォーズ』ファンの多くもこれを正解に挙げています。

公開順

- 「エピソード4～新たなる希望～」(1977)
- ↓
- 「エピソード5～帝国の逆襲～」(1980)
- ↓
- 「エピソード6～ジュダいの復讐～」(1983)
- ↓
- 「エピソード1～ファントム・メナス～」(1999)
- ↓
- 「エピソード2～クローンの攻撃～」(2002)
- ↓
- 「エピソード3～シスの復讐～」(2005)
- ↓
- 「エピソード7～フォースの覚醒～」(2015)
- ↓
- 「エピソード8～最後のジェダイ～」(今冬公開)

「絶対コレ」と紹介したい！

スター・ウォーズ エピソード4 新たなる希望

色褪せることの無いハリウッドSF大作の元祖。2016年末公開「ローグワン」に繋がる本作を見逃すな！

『スターウォーズ』を見る順番

②時系列順

時系列で観るこの順番は、エピソード4～6、1～3、7～9、それぞれが三部作で完結しているからこそ可能な選択肢となっており、エピソード1～3は映像技術の進化により、今観てもさほど古いとは思えないと思います。

『スター・ウォーズ』を初めて観るのであれば、時系列順の方が入り込み易さは高くなっているため、まずは1～3を観て、ファンになってからエピソード4～6でストーリーを追っていくという見方ができるのも、『スター・ウォーズ』シリーズならではの魅力です。どの作品からでも楽しめるという制作者の意図と、時系列順だからそのストーリーの分り易さが、昨今の定番になりつつあります。

時系列順

- 「エピソード1～ファントム・メナス～」(1999)
- ↓
- 「エピソード2～クローンの攻撃～」(2002)
- ↓
- 「エピソード3～シスの復讐～」(2005)
- ↓
- 「エピソード4～新たなる希望～」(1977)
- ↓
- 「エピソード5～帝国の逆襲～」(1980)
- ↓
- 「エピソード6～ジュダいの復讐～」(1983)
- ↓
- 「エピソード7～フォースの覚醒～」(2015)
- ↓
- 「エピソード8～最後のジェダイ～」(今冬公開)

スター・ウォーズシリーズの歴史は本作よりスタートする

スター・ウォーズ エピソード1 ファントム・メナス

エピソード1で始まるアサシンの陰謀に巻き込まれた3人。全てが今までのより見逃すな！

■コメント(アピールポイント、展開に至った経緯、苦労話、お客さんの反応等、何でもOK！)

スターウォーズシリーズの裏話的なものや、よく話題に上がる視聴順等のオリジナルPOPを作成しました。

より長くコーナー前で立ち止まって頂くために、

どれか一つを読めば全てのPOPを読みたくるように作成されています。

画像には映っていませんが、シリーズ全てを観終わった後に最新作を見てもらえるよう劇場誘導POPも設置してあります。



■コメント(アピールポイント、展開に至った経緯、苦労話、お客さんの反応等、何でもOK！)

既にスター・ウォーズシリーズを観終わったお客様に、「もう一度見てみようかな？」と思ってもらうためにメジャーになっている、「公開順」「時系列順」の二つの視聴順とは違った実際のスター・ウォーズファンの意見を取り入れたオリジナルの視聴順を作成しました。納得出来る理由も添えて説得力抜群です。